

米づくりの生産から消費までを知ろう！事業実施主体：わかやま市民生活協同組合(和歌山県)

- 学校等の行事における農業体験では植付けや収穫体験が主流となっていることから、生産過程における様々な農作業工程を体験してもらう取組を実施。
- 和歌山県農業協同組合中央会(JA和歌山中央会)と共催し、生産から消費まで食の大切さについて考える機会として、親子による米作り体験を実施。
- アイガモ米づくり体験を通じて、環境に配慮した農林水産物・食品への理解向上を図った。

和歌山県



(和歌山県全域)

【取組の内容】

- アイガモ米づくり体験の実施
和歌山市在住の農家の方の指導により、手作業や昔ながらの道具類を使った稲作の工程を6月から10月にかけて実際に体験。
(のべ参加人数 142名)
6月 田植え、アイガモ放鳥、用水路見学
9月 アイガモ引き上げ、稲の花の観察
10月 稲刈り、稲架掛け、脱穀、修了式
- アイガモによる米づくりの特徴や稲作についての歴史講話
体験する農作業の説明やアイガモを使い環境に配慮した米づくりのほか、田んぼの内外の自然環境や稲作の歴史などを学習。
農家の方から直に講話を聞くことにより、県民・組合員・職員ともに食の大切さについて考える機会を提供した。



(アイガモ放鳥の様子)



(稲刈りの様子)

【取組の成果】

- 生産者と交流し、栽培方法や収穫方法等について直接話を聞き、体験したことにより、産地の状況や栽培の苦労などを学び、農業への理解の向上につながった。
- 今回の農業体験によって産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合が84.6%となり、地産地消への理解向上につながった。

【事業の目標】

- ① 農林漁業体験を経験した県民の増加
事業実施前 30人
→事業実施後 142人
- ② 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合
事業実施前 69.8%
→事業実施後 84.6%

